

けるという技術的側面から語られるものではなく、広くコミュニケーションという軸で捉えたいと考えます。外国語を話せるだけで国際化時代に通用する訳ではありません。相手と円滑にコミュニケーションできる力、いわゆる情報伝

ご挨拶



理事長 内山道明

名古屋学院大学同窓生のみなさまが各界でますますご活躍のこと心からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみなさまのご努力に心から敬意を表します。

みなさまにおかれましては、すでにご承知のとおり、本学も37年の歴史を重ねて、今日では大学院2研究科、3学部5学科が開設され、学生数も5000名を超える中部圏における優良中堅大学として位置づけられるようになってまいりました。

さらに、本年4月から通信制大学院を設け、生涯学習の社会的要請に応えようとしています。

昨今の教育環境は私学にとつて、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実政策を教職員あげてはかっているところですが、

同窓生のみなさまによる力強いご支援をお願い申し上げます。

達力がいまの若者は不足しています。これをきちんと教えていくことが大切だと思います。そのために、言語とコミュニケーションのエリアの中に手話も導入しました。これは学生たちも熱心に学んでおり、一定の成果が上がっていると思います。



会長 これまでのお話を伺っていると、会長が考えられておられる名古屋学院大学の方向性が見えて来たような気がして来たと感じています。

がします。学問の学び舎としての大学に凝り固まることなく、柔軟性を持ちながら学生が社会に適應できる実務的な教育が必要であるというところでしようか。

学長 そうですね。名古屋学院大学が経済学部から始まったという経緯からおわかりいただけると思いますが、経済を学ぶことはある意味で実務を学ぶこと、そもそも本学には、中部地域における経済社会を担っていく人材を育てようという目標が当初から息づいています。実は大学の建学の目的はこれなんです。キリスト教主義、敬神愛人も大きな建学の精神ですが、大学創立の意図は経済人を育成し、ものづくりの要知を支えるという大きな目標があったはずなんです。この精神に則り、実務的な教育をどう行うかが今でも私たちの課題であり、これをきちんと行つてのみ名古屋学院大学の特徴が出せると思います。

今の学力ではなく、個人の長所を評価するAO入試

会長 実務的な教育という面では、目頭にも申しましたが、他大学に先駆けて導入されたAO入試があります。現在、当たり前のよう

大学のAO入試の特徴とは何でしょうか。

学長 名古屋学院大学のAO入試の特徴は、高等学校の評定ではなく私たち自身が決めた基準で受験者の合否を判断していることです。それは現在の学力ではなく、彼ら彼女らが持っている魅力や内面にキラリと光るもの、あるいはやる気の有無に重点を置いています。他校のように、自己推薦文を書かせたり、共に秀でているか、後は面接などで合否を決めるなどというようなことは致しません。私たちは、受験者全員に1日間に渡る12コマの授業と学内行事に参加していただき、これらの対応を教員が十分に目で見定めています。例えていうなら、この人は授業をしっかりと受講するだろうか、何か面白いことをやりそうだろうか。これは、1人の教員の思い込みによる判断ではなく、複数の教員の合議で選んでいます。実際に手間暇かけて真剣に取り組んでいる訳です。今年は300人を超える受験生が来てくれました。

会長 名古屋学院大学のAO入試は、受験生からかなり人気があると聞いています。同窓会のご子息ご令嬢で、ぜひ入学したいという方がいれば、このAO入試を受けられたら良いのではないかと、と思いますが...

学長 ほとんど体験入学を通して、NGUの良さを知っていただきたいものです。私たちとしても同窓生のお子さま達に、積極的に選んでもらえるような大学になりたいと思っています。

学長自ら派遣講師 各地へ出張講演に出向

会長からの難しい質問を答えていただいたところで、最後に学長の最近のご活動内容を教えていただけませんか。

学長 学長という職務は、大学業務全体の管

理職であると同時に大学の広告塔であるべきというのが私の持論です。これからの大学はもっと上手にセールスポイントを社会にアピールしていかないとダメです。ここ3年ほどは随分頑張つて学内行事の情報を広く発信するようにしています。その甲斐あって、近隣の大学の中では新聞やテレビ等に取り上げられた回数が一番多いのではないかと思います。また、この夏より中部地方の高等学校を対象に、学長の出張講演という企画を始めました。すでに何校かに出向き、講演を行っています。高等学校以外にも、東海地域の進路指導担当の先生方の研修会の記念講演の依頼なども来ております。どこに出張してもお話しした後に、名古屋学院大学はこんなことをやっています、とPRして必ず帰って来ます。広告塔として、大学のために少しでもお役に立てていると幸いですね。

プロフィール



学長 木村光伸 1949年生まれ 京都市出身

1973年3月京都大学農学部林学科(森林生物学)卒業、日本センターセンター研究部研究員を経て、1983年より名古屋学院大学教員に就任。1998年、教授に就任。2000年4月より学長に就任。

会長 お忙しい中、いろいろ多岐に渡ってお話いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。